

## 平成28年度事業報告（概況）

昨年は、ブリュッセルやイスタンブール空港での相次ぐ爆破事件やテロの勃発、また、国内におけるスキーバスの事故、熊本県を震源とする震災等の影響を受け、添乗員派遣業界にとっては厳しい一年となった。こうした状況を旅行業界はどう乗り越えようとしているのかを JATA に問いかけ、「安心安全な旅行を提供するための取り組みについて～旅行業界の危機管理～」を昨年の総会時に取り上げた。

一方、訪日外国人旅行者数は、対前年2桁成長を続けており2,400万人を超え、政府も数字目標を引き上げ2020年には4000万人を掲げている。協会では平成27年・28年の2年間に亘り国の受託事業「業界検定スタートアップ支援事業」を活用し「インバウンド業務検定（仮）」の構築に取り組んできた。この事業では、「インバウンド業務検定入門書」及び試験問題を作成し、トライアルとしての試行試験を実施した。

昨年4月に施行された「障害者差別解消法」に関して、会員に周知を図るとともに、JATAとも連携し、法施行後の実態を把握すべく、障がいのある方がツアーに参加した際の実態について、発生の都度会員会社から報告してもらうよう要請したところ、4件の報告があった。

海外旅行・訪日旅行及び国内旅行振興を目的に観光庁・スポーツ庁及び文化庁が連携して行った「ジャパン・トラベル・マンス」の幕開けとなるイベントの昨年のテーマは「旅は変える、人生を、世界を」であった。その会場内で開催された「ツーリズム EXPO ジャパン」で、「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2016」表彰式及び「ツアーコンダクター職業フェア」を開催した。

また、「優秀な若年層の人材確保の一助」及び「添乗業務のやりがいと魅力のPR」を目的に、観光関係の専門学校や大学の学生と現役の添乗員とが交流を図るための「ツアコンカフェ」を当協会の研修室で開催した。

また、昨年に引き続き、国が一定の基準を満たした派遣事業者を「優良事業者」として認定する「優良派遣事業者認定制度」の審査認定機関として申請のあった派遣事業者の審査業務を行った。

協会の主たる事業である「旅程管理研修」は派遣需要の落ち込みによる添乗員志望者減少が影響し、正会員及び非会員旅行会社ともに昨年を大きく下回る結果となった。「派遣元責任者講習」は派遣法改正による影響もあり、昨年を上回る受講者数で推移した。

尚、平成28年度の組織活動及び委員会活動の詳細を次の通り報告する。

# I. 組織活動関係

## 1、総会

定款第 16 条の規定に基づき、平成 28 年 3 月 17 日(木)メルパルク東京において第 30 回通常総会を開催した。

### (1) 提出議案

第 1 号議案：平成 27 年度事業報告及び収支決算報告について

第 2 号議案：平成 28 年度事業計画案及び収支予算について

第 3 号議案：定款の一部変更について

### (2) 出席者数

平成 28 年 3 月 17 日現在、正会員 47 社、うち出席正会員 28 社、委任状提出正会員 19 社、合計 47 社

## 2、理事会

定款第 35 条の規定に基づく平成 28 年度の理事会は 3 回開催され、各議案について検討審議が行われた。

### (1) 第 128 回理事会

日時：平成 28 年 2 月 12 日（金） 15 時 00 分～17 時 00 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 第 30 回通常総会提出議案について

2 号議案 定款の一部変更について

3 号議案 TCSA 添乗員表彰について

### (2) 第 129 回理事会

日時：書面持ち回り

場所：書面持ち回り

議題：1 号議案 正会員の入会について

### (3) 第 130 回理事会

日時：平成 28 年 9 月 14 日（水） 15 時 00 分～17 時 00 分

場所：TCSA 会議室

議題：1 号議案 平成 28 年度事業計画中間報告（1 月～7 月）

2 号議案 平成 28 年度収支状況中間報告（1 月～7 月）

### 3、地区協議会

北海道、関東、中部、関西、九州各地区の会員で構成する「地区協議会」を各1回開催した。

地区協議会では、会員との話し合いに主力をおき、会員が直面する課題、TCSA への要望・提案事項等について意見交換を行った。

地 区	日	参加会員数	議 題
北海道	平成 28 年 5 月 11 日(水)	9社	①TCSA に対する要望について
関 東	平成 28 年 7 月 12 日(火)	19社	②派遣法の改正(期間制限、キャリアアップ支援策)について
中 部	平成 28 年 6 月 22 日(水)	12社	③障害者差別解消法の施行について
関 西	平成 28 年 5 月 25 日(水)	14社	④インバウンド業務検定(仮)受託事業について
九 州	平成 28 年 6 月 8 日(水)	13社	

## II. 運営幹事会

運営幹事会は、2月、5月、9月、10月、12月年間合計4回開催した。人材育成、コンプライアンス推進、広報イベントの各委員会及び理事会の報告や現在会員会社が最も緊急に解決しなくてはならない課題について議論された。

具体的な内容としては、TCSA 会員会社のキャリアアップ支援策の検討、インバウンド業務検定制度の進捗確認及び検討、添乗員職業賠償責任保険の開発に向けた調査等を行った。

## III. 人材育成委員会

本年度の人材育成委員会は、2月、4月、7月、11月の計4回開催した。例年実施している「ブラッシュアップ研修 (TCSA 主催)」及び「レベルアップ研修 (TCSA・JATA 共催)」の内容の検討、派遣法改正で派遣会社に義務付けられたキャリアアップ訓練に関する支援策の検討、インバウンド業務検定のトライアル試験への協力等を行った。

### 1、基礎研修及び旅程管理研修

基礎研修 e ラーニング受講者数は、個人受講者及び正会員受講者ともに昨年を上回り、合計で計画比 164.0%であった。

旅程管理研修では、国内研修は総計 960 名 (計画比 : 90.1%、前年比 : 71.2%)、総合研修は総計 239 名 (計画比 : 88.5 %、前年比 : 64.4%) でそれぞれ前年を大きく下回る結果となった。

東京及び大阪地区は定期開催とし、その他地区については出張講座で実施した。

#### (1) 基礎研修 (e ラーニング)

	平成 28 年度計画	平成 28 年度実績	計画比
個人受講者	40 名	60 名	150.0%
正会員受講者	85 名	145 名	170.6%
計	125 名	205 名	164.0%

## (2) 国内研修

地区	新規受講			再受講		
	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比
東京	343名	430名	79.8%	9名	5名	180.0%
大阪	169名	170名	99.4%	1名	5名	20.0%
その他	437名	450名	97.1%	1名	5名	20.0%
計	949名	1,050名	90.4%	11名	15名	73.3%
合計	960名（前年比71.2%、計画比90.1%）					

## (3) 総合研修

地区	新規受講			国内免除			再受講		
	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比	受講者数	計画数	計画比
東京	88名	120名	73.3%	35名	15名	233.3%	5名	5名	100.0%
大阪	31名	40名	77.5%	21名	30名	70.0%	0名	0名	—
その他	17名	30名	56.7%	42名	30名	140.0%	0名	0名	—
計	136名	190名	71.6%	98名	75名	130.7%	5名	5名	100.0%
合計	239名（前年比64.4%、計画比88.5%）								

## 2、研鑽研修

## (1) レベルアップ研修

JATA との共同開催による旅行会社社員添乗員との合同参加の「添乗業務レベルアップ研修」を本年度も2月及び3月に東京及び大阪で実施した。

テーマについては、TCSA 設定テーマ「コミュニケーション能力スキルアップ研修～お客様とより良いコミュニケーションを図るために～」、JATA 設定テーマ「添乗業務の再確認とトラブル対応」で実施した。

地区	実施日	テーマ	受講人数
東京	平成29年2月20日(月)	添乗業務の再確認とトラブル対応	26名
	平成29年2月21日(火)	コミュニケーション能力スキルアップ研修	37名
大阪	平成29年3月8日(水)	添乗業務の再確認とトラブル対応	21名
	平成29年3月9日(木)	コミュニケーション能力スキルアップ研修	25名

(2) ブラッシュアップ研修

本年度はTCSA 主催の実施として、仙台・広島で実施した。なお、札幌・名古屋・福岡地区については、地区連絡協議会主導でテーマ・講師を選定し実施した。

地区	実施日	テーマ	受講人数
札幌	平成 28 年 4 月 26 日(火)	救急救命	26 名
仙台	平成 29 年 2 月 3 日(金)	コミュニケーション能力スキルアップ研修	17 名
名古屋	平成 29 年 2 月 20 日(月)	JATA 苦情相談室に寄せられた添乗員にかかわる相談事例	110 名
広島	平成 29 年 1 月 26 日(木)	コミュニケーション能力スキルアップ研修	10 名
福岡	平成 28 年 12 月 22 日(木)	声のチカラとアサーション	26 名

3、訪日外国人旅行者に対応する「インバウンドスタッフ」育成のための検定制度（厚生労働省受託事業「業界検定スタートアップ支援事業」への対応  
2 年目を迎えた同事業の進捗を把握するとともに、試行試験の実施にあたり、受験生の選定に協力し、進め方等について委員会で意見交換を行った。

4、TCSA 正会員会社が行うキャリアアップ支援策  
派遣法改正に伴い、派遣会社に義務付けられた「キャリアアップ研修」に関し、e ラーニングでの実施について、TCSA が e ラーニング業者を選定し、安価で対応できるよう交渉し、会員に利用の案内を行った。

5、添乗員能力資格認定試験の実施  
第 21 回となる認定試験を平成 28 年 12 月 13 日（一次試験）に実施した。  
受験申込者数は総合計 32 名で昨年を大きく下回る結果となった。  
受験実績は以下の通り。

- (1) 総受験申込者数は 32 名で前年比 68.1%（前々年比 42.1%）。
- (2) 試験日は昨年の 1 月から 12 月に変更して実施した。
- (3) 「1 級認定バッジ」は今年の 1 級認定者にも配布した。
- (4) 前年に引き続き観光庁後援の下実施した。

平成 28 年度（第 21 回）添乗員能力資格認定試験申込者（ ）数値は前年数

区分	一次試験		二次試験		最終合格率	合格者累計
	申込者数	合格者数	申込者数	合格者数		
総合 1 級	4 名 (10)	1 名	1 名	1 名	25%	272 名
総合 2 級	3 名 (4)	2 名			67%	335 名
国内 1 級	8 名 (8)	5 名	5 名	5 名	63%	201 名
国内 2 級	7 名 (9)	5 名			71%	414 名
3 級	10 名 (16)	8 名			80%	417 名

#### 6、旅程管理研修の「テキスト」、「修了テスト」の見直し

今年度は対応できなかった小委員会を設置し、来年度検討することとした。

#### 7、TCSA共済会収支報告

会員数は平成 27 年度に比べ 149 名の減であった (2,910 名)。支出は昨年より 79 千円少なく、収支差額は+823,320 円であった。

収支計算書は次ページ参照。

**平成28年度 TCSA共済会収支計算書**  
(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

収 入		支 出	
28年度会費収入	5,707,000	給付金	3,331,000
受取利息(証券利息)	87,637	雑費(振込料)	32,523
<b>小 計</b>	<b>5,794,637</b>	<b>小 計</b>	<b>3,363,523</b>
		人件費	935,882
		通信費(電話代含む)	9,547
		賃借料	169,588
		保守料(ネット関係費)	0
		水光熱費	7,870
		雑費(消耗品)	514
		顧問料	324,000
		福利厚生費	160,393
		<b>小 計</b>	<b>1,607,794</b>
<b>収 入 計</b>	<b>5,794,637</b>	<b>支 出 計</b>	<b>4,971,317</b>
		<b>収 支 差 額</b>	<b>823,320</b>
<b>前年度繰越</b>	<b>36,037,145</b>	<b>次年度繰越</b>	<b>36,860,465</b>

平成28年度 給付件数・給付額		
給 付 内 容	件 数	給 付 額
パスポート再取得金	5件	¥75,000
香典代	48件	¥480,000
結婚祝金	21件	¥630,000
出産祝金	13件	¥130,000
入院見舞金	42件	¥1,220,000
海外援助者補助金	0件	¥0
盗難見舞金	11件	¥220,000
災害見舞金	0件	¥0
障害給付金(2級～5級)	0件	¥0
死亡弔慰金	3件	¥300,000
香典	3件	¥90,000
能力認定合格祝金	2件	¥8,000
ブラッシュアップ研修受講補助金	79件	¥79,000
リゾート・レクリエーション補助金	0件	¥0
退会返戻金	17件	¥99,000
<b>合 計</b>	<b>244件</b>	<b>¥3,331,000</b>

## IV. コンプライアンス推進委員会

本年度添乗業務改善委員会は、4月、7月、10月、12月の合計4回開催した。

1. 添乗業務における労働時間管理導入状況の把握及び周知徹底  
時間管理の導入状況については定期的に把握を行った。導入していない旅行会社に対する対応は、今年度は行わず、来年度検討することとした。
2. 障害者差別解消法への対応  
平成28年4月1日の施行以降、障がいをお持ちのお客様がツアーに参加した際の対応事例について、発生の都度、会員からTCSAへ報告してもらうための報告書を作成し、会員各社へ案内した。
3. 添乗派遣に係るコンプライアンスへの対応  
バス車中における添乗員の安全管理に関して、オプションの注文・集金等、走行中に対応せざるを得ないケースがあるとの報告を受けTCSAとしての対応方について検討を行った。以前、各旅行会社に対して改善要望書を提出しており、また、TCSA NEWSの特集記事でも掲載していることから、会員からTCSAへ報告があった場合に再度書面を送付する等、個別に対応することとした。

## V. 広報イベント委員会

本年度厚生委員会は4月、6月、8月、9月、12月の合計5回開催した。

1. TCSA NEWSの発行  
平成28年度は前年同様、3回発行した（17ページ参照）。
2. 「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2016」及び「ツアーコンダクター職業フェア」の実施
  - ①ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2016の実施  
14, 15ページ参照
  - ②ツアーコンダクター職業フェアの実施  
平成28年9月23日（金）に開催した「ツーリズムEXPOジャパン」のステージで行い、専門学校、大学、短大の学生約100名が参加。  
ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2016の受賞者に登壇してもらい、「添乗員になったきっかけ」、「添乗の楽しさ・面白さ・やりがい」、「添乗で経験したエピソード」について語ってもらった。



### 3. 添乗業務のやりがい・魅力のPR活動

添乗業界に興味関心のある大学・専門学校の学生と現役のツアーコンダクターが気軽に話ができる場として「ツアコンカフェ」を初めての試みとして平成28年12月16日にTCSA研修室で開催した。

現役のツアーコンダクターからは自身の体験談や仕事のやりがい等を語ってもらい、学生からは就職に関する相談等、30名の学生が参加した。

### 4. 添乗員に係る各種表彰制度

特別永年勤続表彰者、永年勤続表彰者の審査を行い、特別永年9名、永年勤続172名を承認し理事会に付議した結果、原案通り承認され3月の通常総会会員懇談会で表彰式を行うことになった。また、各地域の運輸局長表彰を15名が受賞したが、大臣表彰の受賞者はいなかった。

## VI. 受託事業関係

### 1. 派遣元責任者講習会

平成28年度は計51回開催した（昨年と同回数）。受講者数は前年を上回り、合計では1,841名で前年比124.7%であったが、計画比では97.7%であった。

#### 【平成28年度受講実績】

地区	H28 受講人数	前年度 受講人数	H28 計画人数	前年比	計画比	
東京	1,654名	1,297名	1,770名	127.5%	93.4%	
その他	北海道	33名	41名	30名	80.5%	110.0%
	愛知	21名	31名	25名	67.7%	84.0%
	大阪	72名	72名	30名	100.0%	240.0%
	福岡	61名	35名	30名	174.3%	203.3%
合計	1,841名	1,476名	1,885名	124.7%	97.7%	

- ・26年度 受講人数 1,638名 講習会事業収入 13,437千円
- ・27年度 受講人数 1,476名 講習会事業収入 13,337千円
- ・28年度 受講人数 1,841名 講習会事業収入 16,252千円

## 2. 厚生労働省受託事業「業界検定スタートアップ支援事業」

平成 27 年から取り組んでいる当事業（インバウンド業務検定制度の構築）について、2 年目となる今年は、作成したテキスト及び試験問題を活用して、試行試験を実施した。

### 【専門委員会の開催】

①平成 28 年 6 月 30 日（木）

議題：今年度の事業内容及びスケジュール、試行試験について

②平成 28 年 11 月 21 日（月）

議題：作業部会の進捗、試行試験について、「インバウンド業務検定」の名称について、本検定認定者の活用について、今後の進め方について

③平成 29 年 3 月 1 日（水）

議題：「業界検定スタートアップ支援事業」経過報告、試行試験の実施について、検定の名称について、協会としての今後の取り組みについて

### 【作業部会の設置】

①テキスト作成部会：テキストの構成、執筆、校正を行った。

②試験問題作成部会：各級の学科試験問題の作成及び内容の検討を行った。

③試行試験部会：各級の実技試験の問題作成、内容の検討、評価者の育成等を行った。

### 【試行試験の実施】

級	実施日	受験対象者	受験人数
3 級	平成 28 年 7 月 27 日	TCSA 会員所属業務経験者、学生	28 名
	平成 28 年 10 月 19 日	学生のみ	13 名
	平成 28 年 11 月 1 日	学生のみ	11 名
	平成 28 年 11 月 7 日	学生のみ	12 名
2 級	平成 28 年 11 月 25 日	TCSA 会員所属業務経験者	13 名
	平成 29 年 2 月 20 日	TCSA 会員所属業務経験者	11 名
1 級	平成 28 年 11 月 30 日	TCSA 会員所属業務経験者	13 名
	平成 29 年 2 月 23 日	TCSA 会員所属業務経験者	11 名

## 3. 優良派遣事業者認定制度における「審査機関」としての対応

国が一定の基準を満たした派遣事業者を「優良派遣事業者」として認定する制度として、TCSA は申請のあった事業者を審査する「認定審査機関」として審査業務を昨年引き続き受託した。

今年度は 7 社の申請があり、4 社の認定を行った。

## VII. ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2016

今回で11回目を迎えた「ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2016」表彰を「ツーリズムEXPOジャパン」のJapanステージで以下の通り実施した。

### 1 主催：“ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー”実行委員会

後援：国土交通省・観光庁・(一社)日本旅行業協会・(一社)全国旅行業協会・(公社)日本観光振興協会・(一社)日本海外ツアーオペレーター協会・(一社)日本添乗サービス協会

協賛：サンコー鞆㈱・はるやま商事㈱ 協力：㈱トラベルジャーナル

### 2 選考委員会：

選考委員会	氏名	役職
委員長	吉村 作治	早稲田大学名誉教授・エジプト考古学者
委員	西海 重和	観光庁 観光産業課長
委員	南 砂	読売新聞社 取締役調査研究本部長
委員	田川 博己	㈱ジェイティービー 代表取締役会長・JATA 会長
委員	菊間 潤吾	㈱ワールド航空サービス 代表取締役会長・JATA 副会長
委員	戸川 和良	KNT-CT ホールディングス㈱ 代表取締役社長・JATA 副会長
委員	清水 誠	中村学園大学短期大学部 名誉教授
委員	山田 隆英	(一社)日本添乗サービス協会 会長

### 3 選考経緯：

- (1)2016年4月に正会員会社47社及び賛助会員旅行会社13社に候補者の推薦を依頼、5月下旬に応募受付〆切、会員会社9社から19名が推薦された。
- (2)実行委員会における事前の絞込みは割愛し、候補者全員を最終選考委員会に提出することとした。
- (3)7月1日に吉村委員長をはじめ全委員出席のもと、最終選考委員会を開催した。選考委員一人あたりの持ち点を決めて合計獲得点数の上位から評価内容を、表彰事由、功績、人物像、添乗評価など総合的に審議し、受賞者を選考した。

4 受賞者：

賞	受賞者氏名	所属会社	受賞理由
<b>グランプリ</b> 国土交通大臣賞	清水 大徳	(株)J&Jヒューマンソリューションズ	大学の観光部及び高校の講演を3年間続けており、若い学生に対してツアーコンダクターの職業の魅力付けに大きく貢献。清水氏の講演を聞いて、旅行業界の門を叩いた学生も少なくない。講演では得意の「絵」を駆使して、学生が興味を持つような資料を自身で作成し好評を得ている。添乗の場面においても、イタリア添乗では建造物の絵を描き、お客様に建造物の歴史や特徴を説明したり、アフリカ添乗では動物の絵を描きその特徴等を説明し、お客様に大変喜ばれる等、旅の付加価値に大きく貢献。過去のアンケート評価もほとんどが満点の人気添乗員。
<b>準グランプリ</b> 観光庁長官賞	久野 明美	ANA セールス(株)	添乗歴20年のベテラン添乗員。2015年に添乗した全てのツアーのアンケート評価が100ポイント(満点)であった(会社平均86.8ポイント)。同社の高額商品にも数多く添乗し、特に南アフリカのコースでは、アドバイザーとして新コースの提案や改編に大きな役割を果たす。2015年6月ウズベキスタンの添乗では、8名中6名が嘔吐、下痢で体調不良となったが、その後の食事内容の交渉、お粥の差し入れ、負担軽減のための日程の調整等を行い、全てのお客様から高評価をもらった。同社の商品説明会でも久野氏のプレゼンテーションが好評で、成約率も高い。
<b>委員長賞</b>	吉見 梓	(株)TEI	2015年5月のGWに3,600名の日本発着超大型チャータークルーズツアーにおいて、総勢50名の添乗員の統括(チーフ)として添乗業務のみならず、添乗員のマネジメントも行った。船内では「添乗員が案内する英語を学びながら船内体験ツアー」や「添乗員による寄港地レクチャー」、「船上ラジオ体操」等、添乗員主導のイベントを積極的に行い、お客様からも高い評価をいただき、旅行会社からの信頼も厚い。数多くのクルーズツアーの経験による実践的なマニュアルを作成し、クルーズツアーの添乗員育成にも大きく貢献。「クルーズツアーと言えば吉見」と言われる位、クルーズツアーに精通しているが、国内添乗やインバウンド業務もこなすマルチ添乗員である。
<b>会長賞</b>	山本 慎	(株)読売旅行	通常のツアー添乗のほか、自身が企画する海外ツアーを3年連続年2回実施し、お客様からも大変好評をいただいている。ツアー帰国後にお客様の自宅に届くようツアー中に絵葉書を送る等、きめ細やかな対応に感動したお客様が新聞社に投稿し、コラムに掲載されたことも。山本氏が添乗するツアーに同行すると、ほとんど次回も同社のツアーに参加される等、会社への貢献度も大きい。国内旅行においても「巡礼」のスペシャリストとして商品造成から手配までも担当する。

優秀賞 5名：土井敏央氏 (株)J&Jヒューマンソリューションズ、太山久美子氏 (株)J&Jヒューマンソリューションズ、水谷留美子氏 (株)ジャッツ、船津洋氏 (株)読売旅行、齋木勝久氏 (株)JTBワールドパッケージング

奨励賞 10名：穴吹彰子氏 (株)ツリストエキスパート、伊藤地香氏 (株)ツリストエキスパート、村越美智子氏 (株)ツリストエキスパート、太田保代氏 (株)ツリストエキスパート、黒澤雅美氏 (株)ツリストエキスパート、芹沢夕子氏 (株)旅行綜研、山田早苗氏 (株)J&Jヒューマンソリューションズ、寺門大輔氏 (株)JTBワールドパッケージング、浜田勝氏 (株)トップ・スタッフ、岩田さおり氏 (株)トップ・スタッフ

5 表彰式：

平成28年9月23日に、東京ビッグサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン」のJapanステージにおいて、選考委員出席の下、受賞者4名に対する表彰式が挙行政され、それぞれ表彰状及び副賞が授与された。

## VIII. 総務関係

### 1、会員関係

- (1) 正会員：正会員数は、平成 28 年度会費納入正会員は 47 社であった。
- (2) 準会員：準会員数は、平成 28 年 12 月 31 日現在 3 名であった。
- (3) 賛助会員：賛助会員数は、平成 28 年 12 月 31 日現在 33 社であった。

### 2、人事関係

#### (1) 役員

平成 28 年度は協会役員の改選期にあらず、昨年同様、役員は次の通りである。

会 長	山田 隆英 (元海上保安庁長官・OTOA 理事)
専務理事	三橋 滋子 (㈱TEI 代表取締役会長・ANTA 理事)
理 事	古木康太郎 (㈱グローバルユースビューロー代表取締役会長)
理 事	有野 一馬 ((一社) 全国旅行業協会 専務理事)
理 事	清水 哲朗 (㈱旅行綜研 取締役相談役)
理 事	竹内 一修 (㈱エコーインターナショナル 代表取締役社長)
理 事	石黒 祥隆 (㈱ジャッツ 代表取締役社長)
理 事	大畑 貴彦 ((一社) 日本海外ツアーオペレーター協会 会長)
理 事	倉橋 修藏 (㈱ツーリストエキスパート 代表取締役社長)
理 事	高柳 直行 (㈱トップ・スタッフ 代表取締役社長)
理 事	山形 誠之 (㈱阪急トラベルサポート 常務取締役)
理 事	渡辺 文雄 (㈱J&J ヒューマンソリューションズ 取締役 営業部長)
理 事	小見 光浩 (㈱アルファ 代表取締役社長)
監 事	前沢 永壽 (マエサワ税理士法人 理事長 税理士)
監 事	藤渕 平和 (㈱エスティーエス 代表取締役社長)

#### (2) 委員会委員長

平成 28 年度の委員会委員長は、前年同様、次の通りである。

##### \*運営幹事会

委員長 山田 隆英 (一社)日本添乗サービス協会会長

##### \*人材育成委員会

委員長 榎 光義 (㈱TEI 第一事業部長)

##### \*コンプライアンス推進委員会

委員長 山形 誠之 (㈱阪急トラベルサポート 常務取締役)

##### \*広報イベント委員会

委員長 忽那 裕 (㈱エスティーエス 取締役副社長)

### 3、TCSA ニュースの発行

平成 28 年度は、協会機関誌「TCSA NEWS」は下記の 3 号を発刊した。

	OPINION	特集	トップ インタビュー	TCSA レポート
88 号 (7 月 22 日 発行)	協会設立 30 周年を 祝して 観光庁長官 田村 明比古 氏	旅行業界の危機管理	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅程管理研修、派遣元責任者講習今後の予定</li> <li>・添乗あれこれ</li> <li>・2000 日添乗員のコツコツ奮闘記</li> <li>・ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー 2016 開催</li> </ul>
89 号 (10 月 31 日 発行)	観光先進国の実現に向けて～通訳案内士制度の観点から～ 観光庁 観光資源課長 蔵持 京治 氏	ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー 2016 表彰式及び職業フェアを開催	(株)ジャルパック 代表取締役 藤田 克己 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トルコ大使館が来訪</li> <li>・新職員三浦雅文参加からのメッセージ</li> <li>・添乗あれこれ</li> <li>・2000 日添乗員のコツコツ奮闘記</li> <li>・運輸局長表彰</li> </ul>
90 号 (12 月 28 日 発行)	オールジャパンでの観光立国の実現に向けて (公社)日本観光振興協会 理事長 久保 成人 氏	インバウンドスタッフ育成事業～次なるステップへ～	(一社)日本旅行業協会 会長 田川 博己 氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・添乗あれこれ</li> <li>・2000 日添乗員のコツコツ奮闘記</li> <li>・JATA、TCSA 共催レベルアップ研修の実施</li> <li>・ツアーコンワークショップ開催</li> </ul>